

アルファ化研株式会社

愛知県日進市浅田町下小深田 6-4

TEL052-804-4878 FAX052-805-3878

<http://alpha-kaken.com/>

耐候性、硬質外装用コーティング剤 アルファコート A-4、A-5 について



アルファコート A-4、A-5、A-6 はセラミックス、合成樹脂コンプレックスコーティング剤です。従来の塗料、コーティング剤の常識をはるかに超える、優れた性能が確認されています。コンクリートモルタル、ボード、鋼板、アルミ、金属溶射皮膜等の塗装トップコートとして使用できます。

アルファコート A-4、A-5 の特徴

①耐候性に優れています。

亜鉛-アルミのガルバ溶射皮膜トップコートとして長年の実績の上に開発されてきました。ガルバ溶射皮膜と併用することでフッ素樹脂塗料をしのぐ耐候性、凍結融解性、耐塩水噴霧性が確認されています。

②きわめて硬質で、同時に柔軟性があります。

コーティング皮膜は室温にて 4~7 日間で硬化し、6H 程度の硬度に達します。1~2 ヶ月経過すると 8H の超硬質状態に到達します。この状態でも皮膜は柔軟性を失わず、塗板の折り曲げによってもクラックの発生はまったくありません。

③硬化した皮膜は傷がつきにくく、過酷な条件に耐えます。

スチールウール等によってもほとんど傷はつきません。

④ほとんどの外装材料に塗布可能です。



コンクリートモルタル、ボード、亜鉛-アルミのガルバ溶射皮膜等多孔質材料に対しては問題なく使用できます。鋼板、メッキ鋼板、アルミ等の場合は下塗りプライマーの使用をお勧めします。

⑤耐薬品性に優れています。

耐酸性、耐アルカリ性に優れています。

⑥塗布は通常の塗料と同じです。

2液混合タイプで、主剤、硬化剤を混合すれば、はけ塗り、スプレー等で行え、通常の塗装と同じです。室温で硬化しますが、加熱によって促進させることは可能です。促進剤を加えることによって硬化を促進することも可能です。

アルファコート A シリーズ一覧表

アルファコート A-5	光沢があり、硬質、耐候性、耐薬品性、柔軟性に優れています。 アルファコート A シリーズの標準的タイプです。
アルファコート A-4	つや消しタイプです。艶はまったくありません。



使用方法、使用上の注意

①主剤、硬化剤を重量比で 4 対 1 の比率で混合し、ご使用ください。主剤は内容物の分離があるため、よく攪拌混合した後ご使用ください。
計量は秤を用い正確に行ってください。

②塗布する下地は汚れを落とし、清浄にしてください。
油分などの汚れがある場合は、よく脱脂した後塗布するようにしてください。

③硬化剤は使用後必ず密栓し、外気に触れさせないでください。外気に触れたままですと反応が進み、やがて硬化してしまいます。
主剤、硬化剤を混合したものは使い切ってください。元の缶に戻すことはできません。

④材料の希釈は専用の希釈剤(ソルベント MX)を使用してください。他の希釈剤を使用する場合はアルコール等の溶剤を含まず、脱水したものを確認して使用してください。
トルエン、キシレン等の芳香族溶剤、MEK、MIBK 等のケトン系溶剤、酢酸エチル、酢酸ブチル等のエステル系溶剤が使用できます。
金属溶射の封孔処理として使用する場合は、10～50%のソルベント MX で希釈し、御使用ください。封孔処理の上に塗布する場合は、下塗り封孔処理液がよく硬化した後塗布してください。

⑤使用時は局所排気装置を設け、ガスマスク、保護眼鏡等保護具を着用して使用してください。
危険物ですから、火気は絶対に避けてください。
火気厳禁、危険物第四類第二石油類、危険等級Ⅲ



アルファコート A-5F

アルファコート A の耐薬品性

	アルファコート A-5	
	1 週間後	2 週間後
5%食塩水	◎	◎
5%塩酸	◎	◎
5%磷酸	◎	◎
5%苛性ソーダ	◎	○※2
白灯油	◎	◎

※1: 塗膜の光沢が少なくなった。

※2: 塗膜の一部で膨れが発生した。

製品荷姿

主剤 16kg 入り目石油缶
硬化剤 4kg 入り目缶



アルファ化研株式会社

愛知県日進市浅田町下小深田 6-4
(TEL) 052-804-4878 (FAX) 805-3878